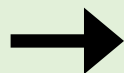
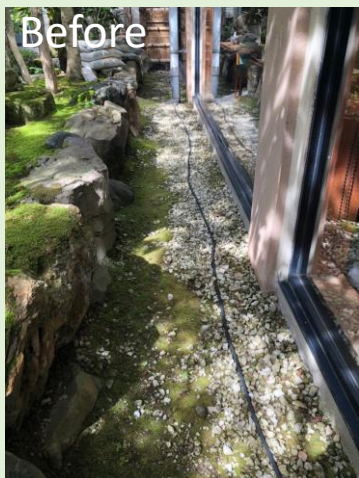


ポラスαでできる防草・美観 施行例

例1) 温泉旅館M様 庭園 (鳥取市, 2023.4月施行)



軒下で手入れがしづらく、むき出しの配線などが人目につきやすかった

例2) I様 墓地区画 (鳥取市, 2023.4月施行)



年数回草刈りが必要な状態だった

例3) T様 墓地 (鳥取市, 2023.5月施行)

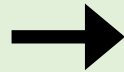


防草シートの際間からスギナが大繁殖していた

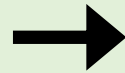


ポラスαでできる防草・美観 施行例2

例4) U神社境内 (米子市, 2023.7月9日施行)



例5) T大学 (鳥取市, 2022.5月施行)



例6) A公園 (米子市, 2006.11月)



特徴

- ・長期間景観が維持できる
- ・維持管理がほぼ不要
- ・原状復帰が簡単































砂とほぼ同じ組成のポーラス α なら、除去不要で土にそのまま混合できます

例7) B公園敷地 (西伯郡, 2010.11月)



ポラスαでできる防草・美観 施行例3 一太陽光パネル下

雑草が伸びるとパネル接触による漏電や発電効率の低下が懸念されます。

敷設場所	施工前		施工後	
鹿児島県南さつま市				
福岡県豊前市				
大分県中津市				
大分県中津市				
岐阜県羽島市				
三重県鈴鹿市				
宮崎県宮崎市				

全国各地の事業所様にご利用いただいております。

ポーラスαでできる防草・美観 作業方法

十分な防草効果を得るために、5cm程度の厚さでポーラスαを敷き詰める事を推奨しております

1) あらかじめ草抜き等を行っておく。この後ポーラスαを敷き詰める高さを印した割りばし等を等間隔に挿しておく。



2) 砂状のポーラスα (**P03**) を敷きならし、上から水をかけながら踏み均す (右写真)。目安として3cm厚ほど。
<水で均す事で砂状のポーラスαが適度に固まり、太陽光が土に届きづらくなるため雑草が生えにくくなります>



3) 上から顆粒状のポーラスα (**P310**, または**PG310***) を敷き均し、2)と同様に水をかけながら踏み均す。目安として2)の砂が見えなくなる程度 (目安として2cm厚ほど)。割りばしを抜き取って終了。
<砂状ポーラスαの飛散防止、美観のために行います>

* 囲いが無い、雨風により水が溜まる、坂になっている土地の場合は**PG310**が適しています。
(より水への対処を行う場合は**P03**と**PG310**のセット利用をお勧めいたします)

粒径幅のあるポーラスα (**PG010**)のみを5cm程度敷き均すことも可能です。
この場合、水をかけることで砂状のポーラスαが自然と下に沈み、上記の方法と同様の効果が得られやすくなります。